

発議案第2号

誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを求める意見書について

標記について、別紙のとおり提出いたします。

令和3年7月27日

提出者 盛岡市議会高校生議会誰もがいきいき委員会
委員長 羽澤安里彩
晴山 里穂
阿部 流奈
熊谷 莉緒
堀江 聖羅

盛岡市議会高校生議会議長 伊藤 千央 様

誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを求める意見書

私たちは、市内の高等学校に通学する高校生の視点から、盛岡市の将来に向けて、誰もがいきいき委員会の所管事項（個別テーマ「高齢者・不登校」）に関し、以下の項目について提案するものです。

記

- 1 バスの出入口の段差は一段一段が大きく、高さが高いため、足腰が弱い高齢者の方は上り下りしにくいので、段差をスロープにすることを提言し、それを実行するバス事業者に対して、補助金を交付すること。
- 2 バスのスロープだけでなく町中にあるスロープにでこぼこ面を取り入れ、雨や雪が降っても歩きやすいデザインにし、若者だけでなく、高齢者も安心して歩行できるようにすること。
- 3 高齢者の方は足腰が弱くスーパーで買い物をするだけでも疲れてしまい、けがをしかねないため、買い物カートを小回りがきくようにし、歩き疲れないようにすることや、商品表示の看板を大きくしたりすることで、すべての人に見やすいようにすることとし、それを実行する事業者に対して、補助金を交付すること。
- 4 全日制の学校に在籍している不登校の児童・生徒を対象としたオンライン教育を充実させること。
- 5 学費の負担軽減のため、授業料無償化または減額をするなどの対策を図り、給付型奨学金の所得制限を撤廃すること。
- 6 県外に進学・就職した若者たちが、岩手に戻り子育てをしたいと思えるような環境を充実させること。
具体的には、幼稚園・保育園の職員を十分確保し、いつでも預けられる施設を多くつくり、SNSなどを活用し、その施設の情報発信を充実させること。

以上、意見書を提出します。

令和3年7月27日

盛岡市議会高校生議会